

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.128  
2018.6

くしろ丹頂



## CONTENTS

- 第12回 釧路丹頂農業協同組合通常総会 — 1~3
- 参事就任のご挨拶/参事退任のご挨拶  
「北海道農業融資優良取組JA」表彰 — 4
- 農作業安全祈願祭/釧路丹頂農協酪農振興会通常総会 — 5
- 第40回 釧路B&Wショウ — 6
- 第25回 釧路西部スプリングショウ  
第11回 鶴居スプリングショウ — 7
- 普及センターだより — 8
- JA北海道大会パネルディスカッション — 9~10
- JAグループ通信 — 11
- 辞令発令 / JAバンクからのお知らせ — 12
- 組織機構図 — 13~14
- 理事会報告 / 生乳生産実績 — 15



鶴居村内「ポイ捨てシャットアウト」  
当JA職員によるゴミの一齐清掃を実施 (4/27)

# 第12回 釧路丹頂農業協同組合通常総会

5月15日（火）、鶴居村総合センターで、第12回通常総会が開会されました。

J A 綱領を出席者全員で斉唱し、武藤組合長から開会の挨拶がありました。又、ご来賓の皆様を代表し、釧路市産業振興部長 秋里喜久治様、J A 北海道中央会 根釧支所長 吉田重彦様からご挨拶を頂きました。

総会の定足数は、正組合員総数358名に対し、出席組合員数304名（本人出席52名、代理人出席7名、書面議決245名）により



(左)折笠議長 (右)志賀副議長



組合員からの質疑

総会は成立し、議長に鶴居地区・折笠文則氏、副議長に音別地区・志賀忠浩氏が選出され、議事を進行しました。

議案第1号 平成29年度（第12年度）事業報告、剰余金処分案の承認についてから議案第7号迄、及び報告事項について順次上程され、質疑応答後、議案は全件決議されました。その後、特別決議が上程され決議されました。

総会にご出席頂きましたご来賓の皆様方、組合員の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後も当J A 事業運営に対し、より一層のご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。



釧路市産業振興部長  
秋里 喜久治 様



中央会根釧支所長  
吉田 重彦 様



## 第12回 通常総会挨拶(要旨)



代表理事組合長  
武藤 清隆

第12回通常総会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年の農業情勢は、足元では乳価の上昇、個体価格の高値等により、かつてない程状況は明るい訳ですが、一方では畜安法の改正あるいは、TPP11・日欧EPAの進展等により、将来に向けては大きな不安を抱える一年でした。特に畜安法の改正により、加工原料乳生産者補給金制度が暫定措置から恒久法へと位置

付けられました。この事は評価に値するところですが、一方では、指定団体以外への生乳出荷者に対しても補給金が交付される事となり、今後の展開も注視していかなければなりません。幸い当農協の組合員の皆さんは農協の理念であります相互扶助をご理解頂き、これまで同様の対応を頂いています事に敬意と感謝を申し上げます。指定団体制度がこれまで酪農という産業にどれ程貢献して来たか、今さら申し述べるまでもなく、これら改革によって価格交渉力・受給調整・安全安心な生乳の確保等これまで同様な指定団体の役割が本当に果たせるのか疑問です。更に来年5月までには、信用事業体制についても結論を出さなければ

ならず、現状に甘んじる事無く、改革すべき点はしっかりとし、反論すべきはするとうメリハリをきかせた対応が必要と考えます。

昨年は一昨年に比べ心配された天候も、一番草二番草収穫までは順調に推移し、9月には台風18号の襲来により、収穫目前のコーンの倒伏があったものの、関係者の御尽力により最小限の被害にとどめる事が出来、結果低迷していた生乳生産も秋口より回復傾向にあります。しかしながら29年度につきましては、残念ながら目標を下回る9万8,938トンと10万トンを割込む結果となりました。販売事業総取扱高では、118億3,400万円となり前年実績を若干割込んだものの、組合員

経済は前年に引き続き、好調に推移しました。

組合員・地域住民の期待と信頼に応える為、機構改革にも取り組み、6月には営農部を、営農部と畜産生産部に再編した他、信用事業の窓口移管についても、地区懇談会・組合員説明会を開催し理解を求めました。又、日本獣医生命科学大学との連携協定に基づき、13名の学外実習生を受け入れ、農業理解の醸成に努めた他、ふれあいサロンの有効活用や「植生改善プロジェクト」では、圃場データの把握に努め、「乳質改善プロジェクト」では、デイリーアドバイザーの設置により、積極的な巡回指導を展開致しました。この他、期中対策では、乳質改善奨励事業に5,94

0万円、他各種対策合わせて8,690万円余の拠出の他、乳牛保留・施設整備に低利融資対策として7,900万円を対策し、これら取り組みの結果、当年度事業利益は7,800万円となりました。税引後当期剰余金につきまして、1億3,600万円を計上し、剰余金処分により所要の準備金・積立金による内部留保の他、特別配当による組合員還元を措置する事が出来ました。改めまして関係各位に心より厚くお礼申し上げます。

北海道の酪農家戸数は年々減少を続け、農業従事者の高齢化も進行しています。当農協も例外ではなく、昨年は6戸の離脱があり、基盤の弱体化に歯止めがかからない現状

です。この事により戸当たりの経営規模は拡大し、拡大に伴う過重労働や投資も経営管理上大きな課題になっております。農協としましては、生産基盤及び競争力の強化・新規就農者や後継者の確保育成に向け、地域での支援体制を構築し労働力負担軽減対策・畜産環境対策等への取り組みを強化致します。新規就農担い手対策サポート事業積立金として新たに2千万円、更には農業施設拡大支援積立金にも2千万円上積みをした他、新規就農予定者、あるいは研修生受入施設の建設を計画している他、TMRセンターの設立や育成牧場の改築に向け積極的に事業展開を計って参ります。

今年は第2次中期計画総括

の年であり、又、第3次中期計画の計画基礎年でもあり非常に重要な年になります。特に第3次中期計画につきましては、先に取りまとめた組合員アンケートを十分に活用し、組合員はもとより青年部・女性部等各組織の意見を十分に反映させながら当JAの将来に向け、夢もてる内容に作り上げたいと考えております。

組合員の皆様には改めまして、農協事業全般にわたるご理解ご協力をお願いすると共に、各行政・関係機関の皆様にも更なるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本日のご参集に心から感謝と御礼を申し上げます。

## JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議

JAグループ北海道は、政府が定めた平成31年5月を期限とする「農協改革推進集中期間」に対し、改革は自ら行うものとして、「JAグループ北海道改革プラン」を策定するとともに、平成27年11月の「第28回JA北海道大会」において「農業所得20%増大」「新規担い手倍増」「サポーター550万人づくり」などを決議し、その実践を通じた自己改革を進めている。

平成30年度は、大会決議事項の実践3年目の年であり、政府が定めた期限に向けた最終年度であることから、更なる自己改革への強い意志を共有し、組合員・JA・連合会・中央会がそれぞれの役割を再確認した中で、「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を目指し、JAグループ北海道が一丸となって着実に実践する。



JA青年部部长  
対木 賢雅 さん

この特別決議は、満場一致で決議されました。



## 「農作業安全祈願祭」で無事故を祈願!!



4月27日、本所で平成30年度釧路丹頂農協酪農作業安全祈願祭が開催されました。

武藤組合長をはじめ、鶴居村 大石正行村長、釧路警察署鶴居駐在所 塩澤 守所長等各関係機関の代表者が出席し、玉串奉天並びに神事を執り行ないました。

白木常務が「交通事故並びに農作業事故撲滅宣言」を、釧路丹頂農協青年部 東 直紘副部長が



「交通安全宣言」をする東 直紘青年部副部長



「交通事故・農作業事故撲滅宣言」をする白木常務

「交通安全宣言」を行ないました。

武藤組合長は、「酪農の現場では労働力不足により時間に追われ労災事故も散見されます。農作業前には一呼吸入れ、安全を確認した上で作業にあたって頂きたい。事故なく豊穡の秋を迎えられる事を願っております。」と締めくくりました。

## 釧路丹頂農協酪農振興会 通常総会開催



瀬戸賢成議長

4月17日、本所で第13回釧路丹頂農協酪農振興会通常総会が開催されました。

折笠文則会長は、「平成29年度を振り返ると生乳生産につきましては、9万9,171tと前年度対比98.8%という結果でした。台風の影響等もありましたが、粗飼料品質及び収量とも安定確保され、秋以降回復傾向にありますので今後もこの調子で生乳生産を維持していければと思っております。生乳生産の維持増加のため個々の農場における飼養管理の充実及び各種事業等を活用しつつ生産基盤の更なる充実を図って頂きたい今後ともよろしく願います。」と挨拶しました。

議長は、音別支部の瀬戸賢成さんが務め、平成29年度事業報告並びに収支決算、平成30年度事業計画他、全議案承認され総会は盛会裡に終了しました。

# 第40回 釧路B&Wショウ 開催



審査員:中川 将氏



5月12日、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で釧路ホルスタイン協議会主催による第40回釧路B&Wショウが開催されました。

管内6JAから、計60頭の出品牛が集まり、審査員は中川将氏(中標津町酪農家)が審査にあたり、デリーイプリンセスは、志岐歩美さん(厚岸町)が務めました。

審査の結果、リザーブシニアチャンピオンに林稔幸氏の出品牛ウツズスターエンペラーニューイヤールオ(5歳成牛クラス)が選出されるなど、当JAの出品牛は各部で優秀な成績を収めました。

主な入賞牛及び出品者並びに受賞者は表のとおりです。

## 入賞牛一覧表

### リザーブシニアチャンピオン

ウツズスター エンペラー ニューイヤールオ | 林 稔幸 | 西部

### リザーブインターミディエイトチャンピオン

BS ファンシー サンチエス ドライブ | (株)大坂ファーム | 西部

### リザーブジュニアチャンピオン

HSY ドアマン タラ プリンセス | 細谷 亮太 | 西部

部	順位	名 号	出品者	地区
1部	2	TKS モントレー フェイス	清水 武志	鶴居
	5	エルムパーク デイヴアイン	安藤 功	鶴居
	6	アワープライド ソロモン モエコ	植田 紘史	鶴居
	9	MS ヒラリー M マニ ET	松下 雅幸	鶴居
	10	ヒシマファーム ローヤル ミツク ソロモン	(有)菱沼ファーム	鶴居
	12	S. P ウォーリー ロモンド ロメオ	(農)高橋農場	鶴居
	13	ウツズスター エンペラー ギャランドウレオ	林 稔幸	西部
2部	4	ウツズスター ジュディー スプリーム タラ	林 稔幸	西部
	6	KWF モントレー アン センビユー	(株)敬和ファーム	西部
	8	IF エルムランド マツカ メロメロ ET	増田 一真	鶴居
	10	HSY サンチエス チップ エンジェル	細谷 亮太	西部
	11	BS アップル マツカ オリーナ ET	(株)大坂ファーム	西部
	12	ハイチャン メリデイト ヒラリー マニ ET	(有)伊深ファーム	西部
3部	1	HSY ドアマン タラ プリンセス	細谷 亮太	西部
	4	KWF アン ソロモン	(株)敬和ファーム	西部
	5	パインハイブ インレー ATWDJ ビーマー リアーナ	松井 俊治	鶴居
8部	2	ハイチャン スターブライト クイーンガール ET	(有)伊深ファーム	西部
	3	エメラルド ローリン トスト ショキンス	松田 浩二	西部
	4	レディホープ サンデイ デンプシー	(農)清和農場	鶴居
9部	1	BS ファンシー サンチエス ドライブ	(株)大坂ファーム	西部
	2	フィールドツリー アレキ スパークリング	(農)清和農場	鶴居
	3	ハイチャン イトー アフター フック	(有)伊深ファーム	西部
10部	5	OP エムビービー ラブリー カウ	植田 紘史	鶴居
	4	VS ツリー マックス ダーハム	對木 賢雅	西部
11部	4	ウツズスター エンペラー ニューイヤールオ	林 稔幸	西部
13部	1	ウツズスター エンペラー ギャランドウレオ	林 俊慈	西部

## 第25回 釧路西部スプリングショウ 開催



審査員：  
丹羽 博文 氏

4月21日、白糠町家畜共進会場で、第25回釧路西部スプリングショウが開催されました。釧路丹頂農協乳牛改良同志会西部支部主催で、音別・白糠から、計36頭の乳牛が出陳され、審査員は丹羽博文氏（別海町酪農家）が審査にあたり、デーリイクイーンは、当

J Aの八木優紀職員が務めました。審査の結果、グランドチャンピオンに白糠、林稔幸さんの出品牛ウツズスターエンペラーレオ（9部）が選ばれました。主な入賞牛及び出品者並びに受賞者は表のとおりです。

### 入賞牛一覧表

グランドチャンピオン				
ウツズスター エンペラー ニューイヤールオ		林 稔幸	白糠	
リザーブグランドチャンピオン				
VSツリー マックス ダーハム		對木 賢雅	白糠	
ジュニアチャンピオン				
ウツズスター ジュディー スプリーム タラ		林 瑠輝	白糠	
リザーブジュニアチャンピオン				
KWF モントレー アン センビユー		株式会社敬和ファーム	音別	
部	結果	名 号	出品者	地区
1部	1位	ウツズスター エンペラー ギヤランドウールオ	林 俊 慈	白糠
2部	1位	ウツズスター ジュディー スプリーム タラ	林 瑠 輝	白糠
3部	1位	HSY ドアマン タラ プリンセス	細 谷 亮 太	白糠
4部	1位	HSY ロブルーグ BC キャロライン ET	細 谷 亮 太	白糠
5部	1位	ウツズスター ジュディー シュリンプ タラ	林 稔 幸	白糠
6部	1位	アドミラル シルキー ダンディー エフエクト	松 田 浩 二	白糠
7部	1位	VSツリー マックス ダーハム	對 木 賢 雅	白糠
9部	1位	ウツズスター エンペラー ニューイヤールオ	林 稔 幸	白糠

## 第11回 鶴居スプリングショウ 開催

5月1日、鶴居村家畜共進会場で第11回鶴居スプリングショウが開催されました。釧路丹頂農協乳牛改良同志会鶴居支部主催で、鶴居・幌呂から、計24頭の乳牛が出陳されました。審査員は渋谷健史郎氏（標茶町酪農家）が務め、乳用牛としての体型や資



審査員：  
渋谷 健史郎 氏



質を競いました。審査の結果、グランドチャンピオンに鶴居、（農）清和農場の出品牛レデイホープサンデイデンブシー（7部）が選ばれました。主な入賞牛及び出品者並びに入賞者は表のとおりです。

### 入賞牛一覧表

グランドチャンピオン				
レデイホープ サンデイ デンブシー		(農)清和農場	鶴居	
シニアチャンピオン				
レデイホープ サンデイ デンブシー		(農)清和農場	鶴居	
ジュニアチャンピオン				
I F エルムランド マツカ メロメロ ET		増田 一真	鶴居	
部	結果	名 号	出品者	地区
1部	1位	MS ヒラリー M マニ ET	松 下 雅 幸	鶴居
2部	1位	I F エルムランド マツカ メロメロ ET	増 田 一 真	鶴居
3部	1位	パインハイブ インレー ATWDJ ビーマー リアーナ	松 井 俊 治	幌呂
4部	1位	TKS ドリー モントレー	清 水 武 志	鶴居
5部	1位	レデイホープ キャピタル チップ	(農)清和農場	鶴居
6部	1位	I F マタドーア エアリフト コスモ ET	増 田 一 真	鶴居
7部	1位	レデイホープ サンデイ デンブシー	(農)清和農場	鶴居
8部	1位	OP エムビービー ラブリー カウ	植 田 紘 史	幌呂
9部	1位	I F マリーメード アットウッド	増 田 一 真	鶴居

農作業事故を防ぐために

ほ場作業が忙しくなるこれからの季節に向け、農作業事故防止対策について考えてみましょう。

農作業機械による事故事例

まずは、事故事例から要因を検証してみましょう。

【事例1】レーキをけん引して砂利道から採草地へ進入した際、レーキが大きく振れ、横転。

【考えられる要因】

- ① 道路に砂利を追加していたため、砂利道とほ場の高低差が大きくなっていた。
- ② レーキを上方にたたんでおり、重心が高く傾きやすかった。

【事例2】収穫時、牧草運搬車でほ場へ移動中、公道を右折しようとしたところ、後方から追い越ししてきた車両と接触した。

【考えられる要因】

- ① 後方確認が不十分だった。
- ② 無謀な追い越しがあった。

二つの事例はいずれも「いつもの場所・作業」で「複数の要因」が絡んで事故が発生しています。

このように、慣れた場所や慣れた作業にある危険は、気がつきにくいものです。

「慣れ」に潜む危険に気づく

身近な危険を認識することが事故防止の第一歩です。

A社（農外）では、従業員全員がヒヤリ（事故の危険を感じた）事例を毎月一つ以上報告し、日常に潜む危険発見に努めています。また、報告をもとに作業手順を作成するなど安全対策を講じています。

農家経営においても、危険と感じた事項を日常会話で話題にしたり、作業日誌に書き留めることで見落とししていた危険因子に気がつくことができます。

作業事故要因を減らす

数ある事故要因をひとつでも減らすことが事故防止につながります。

◎作業前のほ場見回り

ほ場作業開始前に、ほ場の見回りを行います。

ほ場内に落ちている異物（空

き缶や鹿の角等）は、作業の邪魔になるので回収します。

また、路肩が弱くなっている、倒木で道がふさがれているなどの状況があれば、事前に整備を行います。

◎機械の点検、整備

作業中の故障は作業が遅延し、焦りが生じるため、事故のリスクが高まります。

本格的な作業開始前に機械の点検を行い、不具合がある場合は整備を行います。

◎作業予定を周囲へ伝える。いつ、どこで、どのような作業を行うかを家族や仲間などへ伝えましょう。

その際、作業内容や天候、ほ場特性などに合わせた注意喚起の声かけを行うことで、作業者

の「危険」に対する意識が高まります。

◎作業機の安全対策を確認

飼料用とうもろこし収穫作業中、エンジン止めずに詰まりを除去しようとして巻き込まれ、大けがをした事例があります。事故発生時、ダンプの運転手が助けに行きましたが、エンジンの止め方がわからず対応できなかったそうです。

オペレーターのみならず、関係者全員が機械の止め方や組作業の時の合図、応急処置の方法など安全対策を確認しましょう。



状況に応じた注意喚起を



エンジンを止めてから詰まりを除去

各農場の作業体系やほ場環境などにより危険要因は異なります。この機会に作業安全について検討してみてください。

# J A北海道大会実践フォーラム パネルディスカッション

テーマ「食と農でつながる550万人サポーターづくりと  
准組合員制度について」

「食と農でつながる550万人サポーターづくりと准組合員制度について」と題したパネルディスカッションの内容を連載でご紹介します。



## 宮入 隆氏

北海学園大学 教授

ご紹介頂きました宮入です。昨年度に引き続きとなるサポーター550万人づくりに加え、

今年は准組合員制度もテーマです。准組合員の問題は喫緊の課題ですが、これだけ公の場で議論するのは、北海道では初めてかと思えます。今日は利用規制の話や、准組合員の方々や地域との関わりについて議論し、実践活動に繋がりたいです。まずパネリストの皆様から自己紹介と今日の意気込みをお願いします。

## 森 久美子氏

作家  
農水省食料・農業・農村  
政策審議会臨時委員

ご紹介頂きました、森久美子です。道民の中には北海道農業は自立しているから、支え



なくて大丈夫という誤解があるのではないかと思います。北海道農業は、道民の方々に、より意識的に支えてもらわなければならないと思いますので、その点を准組合員制度と絡めてお話ししたいと思います。私は共済の利用がきっかけで、J Aさっぽろの准組合員ですので、その視点からもお話ししたいです。よろしくお願い致します。

## 金井 憧れ氏

アナウンサー  
キャスト・プラス所属

みなさんこんにちは。

ご紹介頂きました金井憧れと申します。現在は東京でフリーアナウンサーとして活動しておりますが、今年3月までHBC北海道放送に所属し、「あぐり王国北海道NEXT」という番組を担当しておりました。あぐり王国では毎週全道各地の農家さんにお世話になりました。たくさんの方畑に行き、触れて、感じて、大好きになった北海道の農業に一人でも多くのファンが増えるよう発信したいです。今日はよろしく申し上げます。



## 山口 敏文氏

北海道生活協同組合連合会  
副会長（事例発表者）

ご紹介頂きました、北海道生協連の山口です。現在は非常勤の副会長ですので地元の芽

室町に戻っていきまして、300坪弱の小さな農園で野菜をつくっております。今日はJ Aと生協が一緒に何かできないかという点を中心に話したいです。今日はよろしく申し上げます。

## 宮崎 俊章氏

J Aひがしかわ 参事  
（事例発表者）

ご紹介頂きましたJ Aひがしかわの宮崎でございます。今日は私がこの事例発表の依頼を受けましたけれども、今日お越しの皆さんもそれぞれの地区で色々な取り組みをやっているかと思えます。私たちが特別ということではないと思いますが、後程事例として発表しますので、どうぞよろしく申し上げます。



## 高橋 和則氏

J A北海道中央会 参事



中央会の高橋と申します。北海道大会の実践支援の担当部署、さらには550万人サポーターづくりの担当部署を所管しております。今日はどうぞよろしく申し上げます。

宮入教授 ディスカッションに入りたいと思いますが、テーマは大きく分けて、サポーターづくりと、准組合員との関わりという2つになり

ますが、まずはサポーターづくりの点について、地域や暮らしとの関わり方など、ご意見を伺いたいと思います。

### 森氏 事例発表を聞いて

私は、都市と農村の格差が進んでいると思いました。これは農村が下という意味でなく、全く逆です。特に食育では、ゆとり教育が廃止され、田植えなどの農業体験をする時間が削減されました。今の札幌の児童たちは農業体験をできる機会が少ない、これはつまり都市では農業の理解者がどんどん減っているかもしれないということです。



宮崎参事と山口副会長のお話で共通して良いなと思ったのが移動販売車です。移動販売車の役割を実感した一つの経験として、以前道南でAコープさんの移動販売車を見学した時、ある家のおばあちゃんが、髪の毛を整えて、よそ行きの服を着て家から出て来られました。女性たちにとっては人と触れ合いながら、自分たちのお金で買い物をするということは、すごく意味があるのだと思います。

農村も都市も今、単身世帯や夫婦だけの世帯といった2人以下の世帯が多い中、JAがどんなにたくさんおいしものをつくっても、たくさん買って頂けなくなってきました。食べる

のに丁度いい量を買えるといった売り方を、家の近くにきてやってくれたらみんな買うのではないかと思います。そういった取り組みの重要性をお二人の事例から感じました。

宮入教授 世帯や食卓の状況までイメージしながら付き合っていくことは重要ですね。金井さんはあぐり王国で全道各地の農協さんにも行かれた経験があると思いますが。



金井氏 東川にはあぐり王国北海道でもお邪魔したことがあります。すごく楽しいロケでした。私は今年26歳になりますが、同世代の友人は、みんなインスタグラムという写真投稿アプリを使っていて、どこかに行くときに写真を撮って、加工して発信しています。北海道の農産物は加工しなくてもきれいで、写真映えるのに、何でもっと発信しないのだろうと思います。作られた農産物をそのまま1枚でもいいから写真に撮って発信して頂けたら、影響がすごくあるのではないのでしょうか。

また、私が東京に戻り改めて感じるのは、都内には北海道農業に興味を持つきっかけがほとんどないということです。東京の直売所マップを開いても、23区内には直売所が一つも無く、周りにいる都内の友人も、全くきっかけが無いため、

興味を持つこともできないです。北海道農業は少しでも触れたり食べたりしたら、その魅力をすぐに感じて頂けるパワーを持っていると思うので、少しでもそのきっかけを増やしてほしいです。

宮入教授 お二人の話から、北海道の良い素材を都市部にいる若い人にどう伝えていくのかというところまで見据えてサポーターづくりを考へることの必要性を感じました。

山口さんはJAひがしかわさんとも色々な形で連携されていると思います。改めて今日の発表を聞いていかがでしたか。

### 山口副会長 JAひが



しかわとは長い付き合いですが、話を聞いてこんなこともやっているのかと改めて感心致しました。これらの取り組みも私たちの組合員と一緒にやればもっとたくさんさんの参加があると思います。地域の農協さんも色々なイベントをやっておられますが、単独で何かをやるという時代から、仲間と一緒にやるということがすごく大事な時期にきています。今日集まって頂いている農協のリーダーの皆様が今後どういう戦略を打ち出すかと言う時に、僕はその部分がサポーターづくりの方向性を固める上で必要かと思えます。

# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA広報誌を中心に好評連載中の「続・今こそJA」を、ご紹介します。

今年、協同組

合の原点である「ロッチデール原則」を再確認するほか、JAグループが取り組む自己改革のご紹介を通じて、協同組合の歴史と経過を振り返る全12回の連載としております。

組合員に限らず、JA広報誌を購読する地域の皆さんにも、私たち協同組合の成り立ちや活動を知ってもらい、共感して頂きたいと考えております。



## JA北海道信連

JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン春RUN!漫!」への協賛を行い、3年目となります。

大会ではゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴをつけたランナーを応援するとともに、特設ブースにちよリスも駆け付け、春のワクワクもらエールキャンペーンのPRや、抽選による日本ハム戦チケットプレゼント企画を行って大会を大いに盛り上げました。



## ホクレン

ホクレンは

3月14、15日



に、新たな販路開拓に向けて食品バイヤーを対象にした「第12回JAグループ国産農畜産物商談会」（東京国際フォーラム）に出展しました。

「北海道こめ油」や「てんさい糖」、乳製品などを幅広く紹介したほか、ポトル形状やデザインをリニューアルしたホクレンの顆粒片栗粉「とろりんぱっ」を使ったから揚げや角煮の試食を提供し、北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。



## JA共済連北海道

JA共済連では、今年もスタントマンによる交通事故の再現により危険性を疑似体験（スケアードストリート技法）させる交通安全教室を、道内8つの高等学校で開催しました。

体験した生徒からは「危険を再認識した」「ルールを守り、気をつけていきたい」などの感想が寄せられました。このような活動で交通事故が減り、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと考えています。



## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。





# 辞 令 発 令

(平成30年6月1日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
松 基 恭 二	参事役兼監査室長	参事兼監査室長
坂 本 克 則	参 事	営 農 部 長
金 森 重 彰	購買部長兼燃料課長	管理部長兼監査室室長補佐兼融資審査課長
石 動 稔	金融共済部長	金融共済部長兼白糠支所長
長谷川 隆	管理部長兼融資審査課長	音 別 支 所 金 融 共 済 課 長
西 村 隆 志	営 農 部 長	購買部長兼燃料課長
山 本 悟	管 理 部 管 理 課 経 理 電 算 係 長 兼 監 査 室 監 査 係	管 理 部 管 理 課 経 理 電 算 係 兼 企 画 管 理 係
青 山 楓	管 理 部 管 理 課 経 理 電 算 係 兼 企 画 管 理 係	金 融 共 済 部 金 融 課 金 融 係
高 橋 綾	営 農 部 農 業 振 興 課 農 業 支 援 係 長	管 理 部 管 理 課 経 理 電 算 係 長 兼 監 査 室 監 査 係
鈴 木 英 智	営 農 部 農 業 振 興 課 農 業 振 興 係 長	営 農 部 農 業 振 興 課 農 業 振 興 ・ 支 援 係 長
山 本 晃 平	営 農 部 農 業 振 興 課 農 業 振 興 係 兼 農 業 支 援 係	営 農 部 農 業 振 興 課 農 業 振 興 ・ 支 援 係
高 田 栄 子	金 融 共 済 部 金 融 課 長	白 糠 支 所 金 融 共 済 課 長
北 川 和 美	金 融 共 済 部 金 融 課 金 融 係	営 農 部 農 業 振 興 課 農 業 振 興 ・ 支 援 係
田 中 淳 一	購 買 部 生 産 資 材 課 長	購 買 部 生 活 課 長
高 橋 伸 幸	購 買 部 生 活 課 長	白 糠 支 所 販 売 課 販 売 係 長
長 屋 英 俊	畜 産 生 産 部 販 売 課 販 売 係 長	白 糠 支 所 販 売 課 販 売 係
石 渡 正 志	白 糠 支 所 長	音 別 支 所 長
山 村 正 幸	白 糠 支 所 金 融 共 済 課 長	金 融 共 済 部 金 融 課 長
矢 部 哲 也	白 糠 支 所 金 融 共 済 課 金 融 共 済 係 長	音 別 支 所 金 融 共 済 課 金 融 共 済 係 長
今 野 佳 奈	白 糠 支 所 金 融 共 済 課 共 済 係	音 別 支 所 金 融 共 済 課 共 済 係
神 谷 治	白 糠 支 所 販 売 課 販 売 係 長	畜 産 生 産 部 販 売 課 販 売 係 長
野々村 峻彦	白 糠 支 所 販 売 課 販 売 係	畜 産 生 産 部 販 売 課 販 売 係
春 日 守	音 別 支 所 長	音 別 支 所 営 農 課 長
松 崎 勇 人	音 別 支 所 営 農 課 長 兼 乳 牛 検 定 事 業 担 当 事 務 局 長	音 別 支 所 営 農 課 営 農 係 長
野々村 典亮	音 別 支 所 営 農 課 営 農 係 長	幌 呂 支 所 金 融 共 済 課 金 融 共 済 係 長
田 村 良 友	音 別 支 所 金 融 共 済 課 長	購 買 部 生 産 資 材 課 長
池 田 直 哉	音 別 支 所 金 融 共 済 課 金 融 共 済 係 長	白 糠 支 所 金 融 共 済 課 金 融 共 済 係 長
村 上 千 春	音 別 支 所 金 融 共 済 課 共 済 係	白 糠 支 所 金 融 共 済 課 共 済 係

**JAバンク北海道** みんなでおいしい北海道

## ドドンと当たる

夏キャンペーン 6/1(金)~7/31(火)

今年のお夏は、チャンスがでかい。

**年会受取** で! **JAネットバンク** で!

**JAカード発券** で! **定期貯金・積金** で!

全道合計 **3,000名様に当たる!**

詳しくは店頭またはWebで  
<http://www.jabank-dodoon2018.jp/>

**北海道グルメドドン!** 抽選で1,000名様

全道JA特産品 3,500円相当  
カタログギフトから  
好きなJA特産品1品

**Wチャンス** JA特産品1品 3,500円相当  
または 農協全国商品券  
ご希望のどちらかを  
プレゼントします。 2,000円分

外れた方の中から抽選で2,000名様

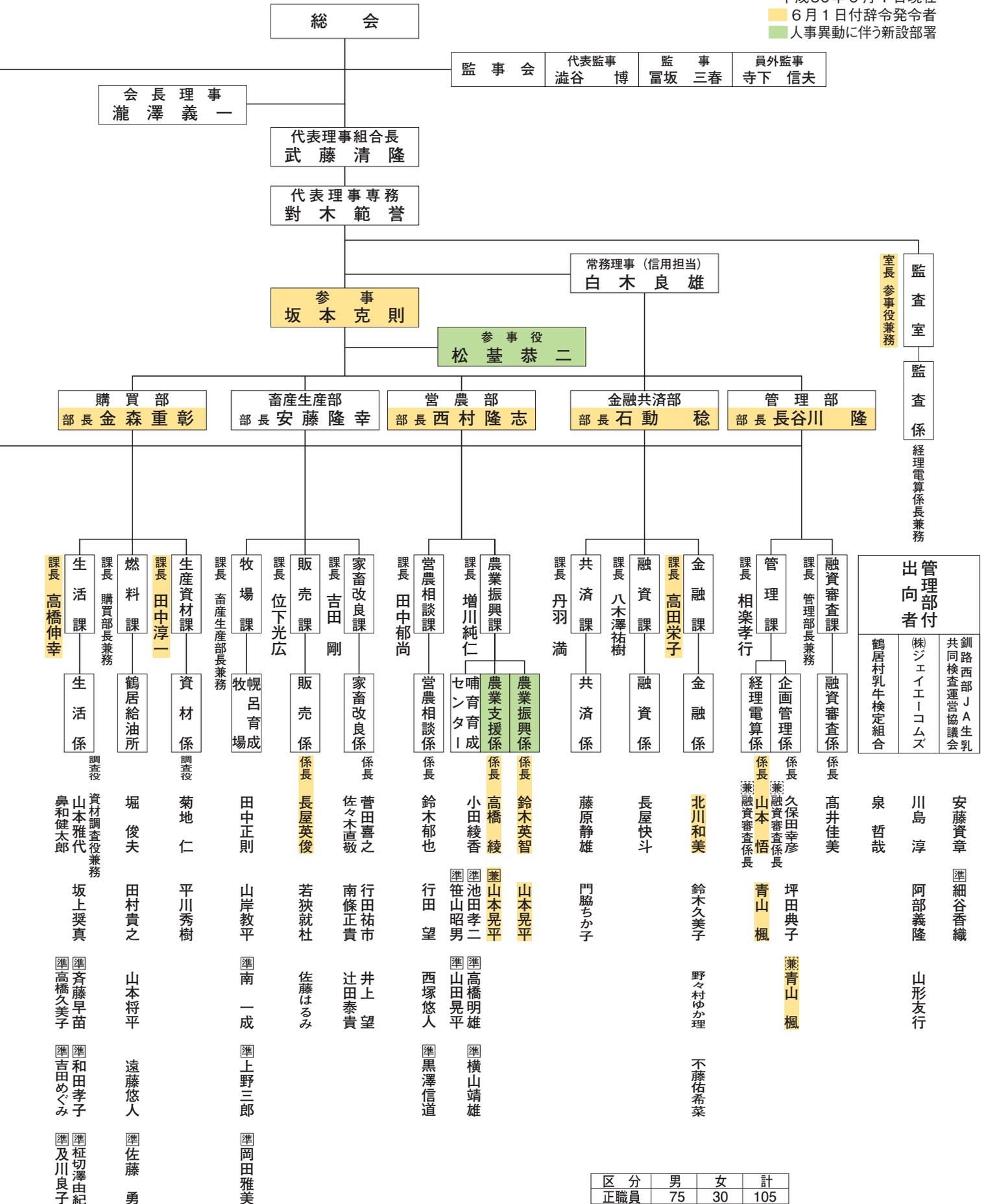
さらに先着で 食器用洗剤 Magicaをプレゼント!

JAバンク北海道 <http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

平成30年6月1日現在

■ 6月1日付辞令発令者

■ 人事異動に伴う新設部署



区分	男	女	計
正職員	75	30	105
準職員	27	22	49
計	102	52	154



# JAくしろ丹頂組織機構図

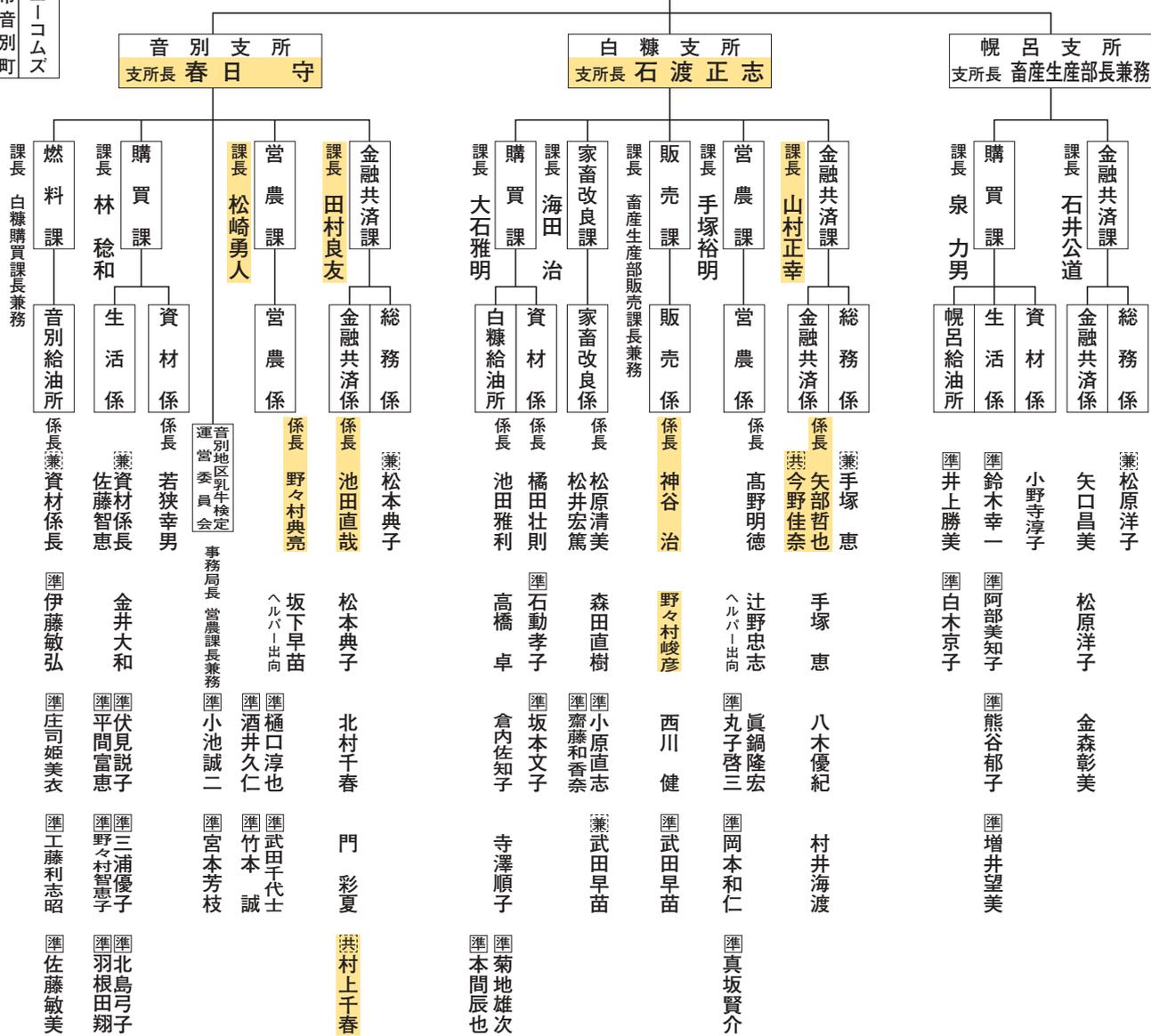
瀧澤 義一 田井 博行	武藤 清隆 藤澤 常行	對木 範誉 千葉 喜好	松下 勉 五十嵐政敏	大坂 博文	学識経験理事 白木 良雄	理 事 会
----------------	----------------	----------------	---------------	-------	-----------------	-------

管理金融共済委員会  
委員長 松 下 勉

営農経済委員会  
委員長 大 坂 博 文

融 資 協 議 会  
委員長 田 井 博 行

社 員	子 会 社
社 員	株 シ エ イ エ ー コ ム ズ
社 員	社 農 業 振 興 公 社
社 員	社 農 業 振 興 公 社



# 理事会報告

## 4月定例理事会 平成30年4月26日(木)

### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 3月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 子会社の決算状況および監事の監査報告について

### 付議事項

- 議案第1号 融資の承認について  
 議案第2号 不良債権の処理方針について  
 議案第3号 子会社の平成30年度事業計画の策定について  
 議案第4号 固定資産の取得について

### その他協議事項

1. 当面の業務日程について

## 5月臨時理事会 平成30年5月15日(火)

### 付議事項

- 議案第1号 参事の選任及び解任について

## 5月定例理事会 平成30年5月30日(水)

### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 4月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 理事（生計同一であるもの）に対する資金の貸付報告について
6. 決算状況について

- 議案第4号 回転出資金の出資への振り向けについて  
 議案第5号 ホクレントラック鶴居事業所の減車及び運送契約締結先への車両売却について  
 議案第6号 理事の報酬の配分について

### その他協議事項

1. 春季地区懇談会および第12回通常総会における意見・要望等について
2. 持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議について
3. 当面の業務日程について

### 付議事項

- 議案第1号 農協検査指摘事項に対する改善・対応状況等の報告について  
 議案第2号 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書について  
 議案第3号 組合業務及び財産（連結含む）の状況に関する情報開示について

■平成30年度 生乳生産実績	(4月)				(5月)			
	月計乳量(kg)	4月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)	月計乳量(kg)	5月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,504,204.9	104.3	8,504,204.9	104.3	8,934,460.3	103.2	17,438,665.2	103.8
(鶴居地区)	3,129,541.9	109.3	3,129,541.9	109.3	3,270,118.4	107.1	6,399,660.3	108.1
(幌呂地区)	2,186,875.7	99.6	2,186,875.7	99.6	2,292,994.6	100.7	4,479,870.3	100.2
(白糖地区)	1,706,172.3	101.1	1,706,172.3	101.1	1,804,545.1	100.8	3,510,717.4	100.9
(音別地区)	1,481,615.0	105.6	1,481,615.0	105.6	1,566,802.2	102.2	3,048,417.2	103.8
管内計	44,020,921.6	101.8	44,020,921.6	101.8	46,363,931.0	100.9	90,384,852.6	101.4
(前年度管内計)	43,226,645.6		43,226,645.6		45,939,068.2		89,165,713.8	

□「農作業安全祈願祭」が終了し、これから夏へ向けて行われる作業も日増しに増えていく時期となりました。交通事故及び農作業事故の多くは、様々な要因が重なり発生するといわれます。農業機械の事前点検や作業員同士の事前確認などが大切に時間をゆとりをもって作業にあたり、よく言う「ヒヤリハット」な状況を少しでも減らす必要があります。安全第一を前提に悲惨な事故が起こらないよう農作業に携わる人皆が気を付けつつ実りの秋を迎えられるよう取り組んで参りましょう。

編集後記  
EDITOR'S NOTE